

## 江別市内の大学生2人が市内企業で就労体験



江別市内の大学生に空知地域の魅力を認識してもらい、就職や定住促進などを目的とした学生地域定着自治体広域連携プロジェクトによる企業インターンシップが2月26日から28日までの3日間、芦別市内で行われました。

参加したのは、札幌学院大学の玉

木和真さん＝写真左＝と北海道情報大学の南出和真さん＝同右＝の二人で、株式会社ソラチのたれ製造工場

で3日間就労体験を行いました。体験を終えた二人は、稲場副市長と懇談し、「地域イベントなどに参加して、地域のことをもっと知りたい」などと話していました。

## IT関連企業のビックボイスが上芦別町に芦別事業所を開設

ソフトウェアの設計や開発などを手掛ける株式会社ビックボイス（本社・東京都町田市、佐々木治郎社長）が、芦別市内に事業所を開設しました。

同社は2012年に設立し、企業向けのシステム開発やネットワーク設計などIT関連事業を手掛けています。

芦別事業所は、上芦別町の旧上芦別保育園の土地、建物を市から購入。北

海道内では、札幌、函館について、3番目の拠点となります。

3月1日、佐々木社長＝写真左＝が市役所で発表。芦別では、システム開発のほか、ホームページなどの製作、ドローンの実証実験などIT関連事業を幅広く展開していきたいとし、当面は3人を新規に採用、将来的には30人程度の規模を目指すとのことです。



## 北日本自動車大学校で卒業式、知識と技術習得した20人が巣立つ



専門学校北日本自動車大学校の卒業式が3月16日、同校で行われ、自動車整備科とボデーリペア科の合わせて20人が巣立ちました。

式では齋木修二校長が「自動車業界は、自動運転をはじめ安全対策などの技術革新が進んでいる。皆さんはこの学校で学んだ知識と技術を基礎にして更なる自己啓発に取り組

み、一流の技術者を目指してほしい」と式辞を述べました。

これに対し、卒業生を代表して須貝大輔さん＝写真＝が「さまざまな実習で経験を積み重ね、厳しさの中で多くを学ぶことができました。これからは、社会人としての自覚と本校で学んだことの誇りを胸に精進してまいります」と答辞を述べました。

## 吹奏楽の魅力をつっぴり伝えるポップスコンクール開催

星の降る里ウィンズバンドプロジェクト主催の第10回吹奏楽ポップスコンクールが3月18日、市民会館で開催されました。

これは、中学校の吹奏楽団体を対象に、演奏技術に加えステージ上でさまざまなパフォーマンスも競うコンクールで、音楽の楽しさと吹奏楽の魅力を広く知ってもらおう意味もこめて開

催されているものです。

今年は、芦別中学校＝写真＝をはじめ、札幌市や旭川市などから計10校が参加。テレビドラマやアニメ映画の主題曲などにダンスを取り入れるなど、工夫をこらした動きで華やかに演奏を繰り広げ、聴衆を楽しませました。

審査の結果、東神楽町立東神楽中学校がグランプリに輝きました。

